

第17回戸籍システム検討ワーキンググループ 議事概要

- 1 日時：平成29年2月10日（金）10：00～12：02
- 2 場所：法務省民事局会議室
- 3 出席者：安達座長，遠藤委員，酒井委員，高橋委員，中村委員，成田委員，穂積委員，本間委員，鷺崎委員
- 4 概要：法務省から，配布資料に関する説明を行った後，自由討論が行われ，大要，以下のような指摘等がされた。

【戸籍システム検討ワーキンググループにおける中間取りまとめについて】

- 新システムの形態比較の検討について
 - ・ 新システムの形態の在り方については，実現可能性の観点から検討を加えた上で，費用対効果など，様々な観点から比較検討を行うべきである。
 - ・ 新システムの形態については，採るべき形態によって提供できるサービスの内容が異なることを示すことが必要である。
 - ・ 戸籍情報に対するニーズの調査結果を踏まえ，これに対応することが可能なシステム形態を採ることが必要であるが，併せてクラウド化を進めるなどして，システム全体の経費の削減等を図ることが必要ではないか。
 - ・ 今後の戸籍のシステムの在り方について，長期的なスパンで一定の方向性を示すことが必要ではないか。

【調査・研究事業における最終報告書（案）について】

- マイナンバー連携のための連携情報の調製について
 - ・ マイナンバー連携のための連携情報の調製に当たっては，戸籍の情報は極めて高い正確性が要求されることを踏まえて検討することが必要である。
- 戸籍システムのクラウド化について
 - ・ 戸籍システムのクラウド化については，運用経費等の削減効果が期待されるどころ，様々な形態が想定されることから，戸籍システムの将来的な在り方も含めて検討することが必要ではないか。
- マイナンバーの紐付けについて
 - ・ マイナンバーの紐付けについては，様々な方法があると思われることから，どのように紐付けを行うかについて，平成29年度中も継続して検討する必要がある。

以上